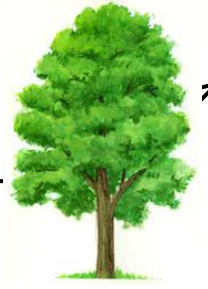




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和5年6月2日(金) No.4 文責 校長 島田 二郎



6月になりました

6月になりました。6月は旧暦では「水無月」と言われていました。「梅雨の時期なのに水がない月？」と疑問に思います。調べてみますと、諸説があり、「水がある月」説と「水がない月」説の両方があるようです。水がある説では、「無」は「ない」ではなく、「～の」という意味で、「水の月」という意味になるようです。水がない説では、旧暦の6月は現代と1ヶ月のずれがあるため、梅雨が明け、晴れが続き「水がなくなる月」という意味からだそうです。旧暦と現代では、時間のずれがあるため解釈が難しいところですが、日本ならではの季節感の捉え方には趣を感じます。現代では、梅雨のじめじめとした季節であり、体調管理に気をつけたいところです。

さて、学校は新年度になり2か月が過ぎ、次第に色々なことに慣れてくる時期です。クラスの友達とも仲良くなり、これから充実・発展期を迎えます。6月には、中間考査や教育相談、中体連大会等があります。それぞれの活動で力を発揮してほしいと思います。



充実した5月でした

5月は、体育会という大きな行事がありました。また、1年生は自然教室に行ってきました。どちらも様々な場面で生徒の成長が見られ、大成功の行事でした。

体育会は午前の半日開催でしたが、子ども達は1つ1つの競技に気持ちを込め、一生懸命に取り組みました。特にブロック演技では、各ブロック約180名の大集団が1つになり表現する姿が見られ、見ていてとても感動しました。子ども達の真剣な表情、集中して張りつめた雰囲気、笑顔でダンスを踊る姿など、どれも最高の演技でした。また、各ブロックのパネルも迫力があり、熱い思いが伝わりました。

体育会を終えて、「今年、また新たな伝統が生まれた」と感じました。過去の先輩たちに負けない力強い演技を見せてくれた『太西星』たちは、太宰府西中学校の宝です。これからもキラキラと輝き続けてほしいと思います。

自然教室は、1年生のみで行う初の行事です。海の中道青少年海の家で、2泊3日を過ごしてきました。天候の影響を受け、活動の変更もありましたが、野外炊飯やレクリエーション、DVD鑑賞、ロープワーク、海の家ビンゴ、海岸散策、キャンプファイヤー、クラスマッチ、マリンワールド見学をしました。3日間、共に過ごすことで、友達や先生方をより理解するようになり、絆が深まりました。また、人懐っこさや思いやり・優しさなども見ることができました。この経験をこれからの中学校生活にいかして、さらに成長することを期待します。



〈体育会後の3年写真撮影〉



〈1年生自然教室〉